

洗淨

- (1) 洗うものに応じた適切なサイズのブラシを使う。
- (2) 洗剤を使用する際は、環境への負荷を考えて、使いすぎに注意する。
- (3) 試験管を洗淨する際は、底を突き破らないよう、奥まで入れた長さにブラシを持つとよい。必要に応じ、容器の外側も洗淨する。
操作 [\(動画\)](#)
- (4) 洗剤を使った後はよく水洗し、乾燥用のバットなどに逆さに立てて乾燥させる。
- (5) 水洗後、すぐに使用する場合は、使用する溶液で中を数回すすいで使ってもよい。
- (6) 早く乾燥させるときは、アセトンやエタノールなどの水と混ざる有機溶媒を少量加えてすすぎ、ドライヤーの温風または冷風を当てて乾燥させる。(メスシリンダーやホールピペットなど、液体の体積を測定する目盛りのついた器具は加熱しない。ビーカーや目盛り付き試験管は加熱してよい。)